

# 2021 和歌山県中学硬式野球選手権大会

## 大会約款(大会特別規定)

本大会は、和歌山県の中学生硬式野球団体が他団体と交流することにより、少年野球の普及・発展に寄与することを目的とする。

本大会に当たり、下記の大会特別規定を定める。

- ① 本大会に参加できる選手は、所属団体の規定を満たす者とする。2021年4月8日の時点で本大会に登録されたチーム以外からの参加は認められない。  
試合当日に提出されたメンバー表をもって選手登録とする。
- ② チームは単独とし、前項の規定を満たしたチーム所属の全ての選手で編成する。ただし、ベンチ入りできるのは11名以上20名以内の選手と監督・コーチ2名・スコアラーまたはマネージャーの4名までとする。選手・監督・コーチは同一のユニフォームを着用すること。ただし、所属団体に別の規定を有する場合、それを優先する。背番号は所属団体の規定の通りとする。
- ③ 本大会出場選手が試合当日に11名に満たない場合は、実行委員会で協議し決定する。
- ④ 今大会は原則として当該年度の公認野球規則、および大会特別規定を適用して開催する。
  - (a) 試合は2時間制を採用し、2時間を超えて新しいイニングには入らずそのイニングをもって勝敗を決する。但し5回までは継続する。2時間を超えてその回の終了時同点の場合には(h) 1. 2に定めるタイブレーク方式で勝敗を決する。
  - (b) 各チームの主将及び監督は、その会場の前の試合の4回終了時(但し4回時点でのコールドゲームが成立した場合は試合終了次第。第1試合については試合開始40分前)までに所定のメンバー表を大会本部に提出し、同時に審判員立会いの下で先攻・後攻を決める。また投手の投球回数申告用紙(各投手それぞれの前の試合までの投球回数を記入すること)も提出する。
  - (c) 試合は原則として7回イニングス制とし、降雨・日没その他理由により、試合続行不可能と大会本部が判断した場合、4回終了時点を持って成立(コールドゲーム)とする。
  - (d) 4回を満たさずに試合が中止の場合はサスペンデッドゲームとして、大会本部が指定した会場・日時で続きを行う。(ただし、この場合の会場・日時について実行委員会で協議した上で決定する。)
  - (e) また試合成立後、雨天等などやむをえない事情で試合を中止する場合のコールドゲームとなった場合は、両チームが攻撃の完了した均等回までの成績を対象とする。
  - (f) コールドゲーム宣告の時点での引き分けの場合、打ち切り時点におけるメンバー9人ずつによる抽選で次の試合に進出するチームを決める。
  - (g) 得点差によるコールドゲームは4回以後終了時点で10点差又は5回以後終了時点で7点差以上ついた場合に適用する。ただし決勝戦は得点差によるコールドゲームは摘要しない。

(h) 7回を終了した時点で同点になった場合は延長戦とするが、延長10回、もしくは10回を満たさなくても試合開始から2時間以上を経過した場合にはタイブレーク方式により延長を再開する。(決勝戦に限り延長戦は試合開始2時間20分を経過した段階でタイブレーク方式により延長を再開する。)

1. タイブレーク方式は2時間を超えてその回の終了時 同店の場合、7回終了時 同店の場合に行う。1アウト満塁の状態で開催する。この場合、前のインニングの打撃を完了した選手の次の打順の選手が最初の打者となり、走者は1塁から順に前のインニングの最後から数えて3人の打者が勤める。(怪我などその他の理由での代打と代走は認める)

2. タイブレーク方式は勝敗が決定するまで行う。

(i) 投球制限については、日本中学硬式野球協議会で制定された「中学生投手の投球制限に関する統一ガイドライン」を適用し大会を開催する。

投手は同じ日に7インニング以上、また2日間連続(もしくはダブルヘッダーによる連投の場合も含め)10インニング以上の投球は禁ずる。また0/3~2/3インニングの端数についてはそれぞれの試合ごとに切り上げて1回の扱いとする。その他規制については、「中学生投手の投球制限に関する統一ガイドライン」で参照してください。

(j) 打者(次の打者も)・走者は危険防止のため必ず両耳に安全ガードを付けたヘルメットを装着すること。捕手も防護ヘルメットや所定の防具を装着すること。(練習時も含む)

(k) 特別代走を認める。これは特別な事情(死球による負傷など)により、一時的に休めば試合に出場できると審判員が判断したときに限り適応する。この場合、その打者の最も近い打撃を終えた選手(投手を除く)を特別代走者とする。

(l) 一試合のタイム回数は攻撃時3回、守備時3回までとする。(マウンドに3人以上の選手が集まってもタイムは1回とみなす)延長戦になった場合はそれ以前の回数に関係なく、1インニングごとに1回だけタイムをとることができる。

(m) 監督が、投手のもとへ行ける回数は1試合1インニングにつき2回まで。(投手交代の場合は回数に数えない)3度以上投手のもとに行けば、自動的に投手を変更しなければならないが、その投手は他の守備につくことができる。また、一度他の守備についた投手が再び投手の位置についても差し支えない。また延長戦になった場合はそれ以前の回数に関係なく監督が、投手のもとへ行ける回数は1インニングごとに1回だけ認める。

# 2021年和歌山県中学硬式野球選手県大会

## 大会特別規定（補足）

- ①各チームの選手、監督は、その会場の前の試合の4回終了時にメンバー表交換までに会場入することとする。（第1試合目のチームについては試合開始40分前までに会場入りすること。）
- ③ ベンチは組合せ表の上段が一塁側とする。
- ④ ベンチに入ることができるのは監督・コーチ2名・スコアラー(マネージャー)の計4名と選手18名までとする。
- ④ メンバー表は、それぞれのリーグで使用しているメンバー用紙とする。たま投手の投球回数申告用紙（各投手それぞれの前の試合までの投球回数を記入すること）も提出する。
- ⑤ グラウンドインしたチームは、本部の指示のもとに速やかに試合前の練習を行うこと。グラウンドルールがある場合は、それに従うこと。
- ⑥ **試合前ノックは7分間とする。**（時間厳守のこと）ただし、試合進行・グラウンド状態により行わない場合がある。
- ⑦ 試合をスピーディーに行うため、以下の項目を守ること。
  - (a) 攻守交替時に守備に移るチームがスピーディーにポジションつくことはもちろんのこと、攻撃に移るチームも第一打者とベースコーチはミーティング(円陣)に加わらず、所定の位置に速やかにつくこと。
  - (b) 投手は投手板に触れている状態で、捕手からサインを受けること。
  - (c) 打者はみだりにバッターボックスを出ることは許されない。たとえタイムを要求しても審判員が宣告しないときは、インプレーとする。
  - (d) 次打者は必ずウエーティングサークルに入り、低い姿勢にて待機すること。
  - (e) 捕手は投手に返球する時、野手に声をかけるために一球ごとにホームプレート前に出ないこと。
  - (d) 投手の投球練習は、初回および交替時は7球、初回以外のイニング時は3球とする。
- ⑧ **コーチボックスには選手のみが位置する（監督・コーチは入れない。）**
- ⑨ コーチボックスにいる者は、相手選手をまどわすような動きをしてはならない。  
また打者に投球の球種を伝えるよう行為、またそれに疑わしい行為はしてはならない。
- ⑩ 選手の手袋などの使用については、対戦チームの不利益にならない範囲で使用を認める。
- ⑪ 試合中に次の試合チームの投手練習は、メンバー交換後(4回終了後)にグラウンド内での投球練習をしても良い。
- ⑬ 審判については、3団体から派遣の審判員とする。
- ⑭ ゴミは球場(グラウンド・スタンドを問わず)に捨てず、必ず持ち帰ること。スタンドで応援する選手・保護者にも徹底すること。
- ⑮ **紀三井寺球場内スタンドにテント等は張らないこと。**